

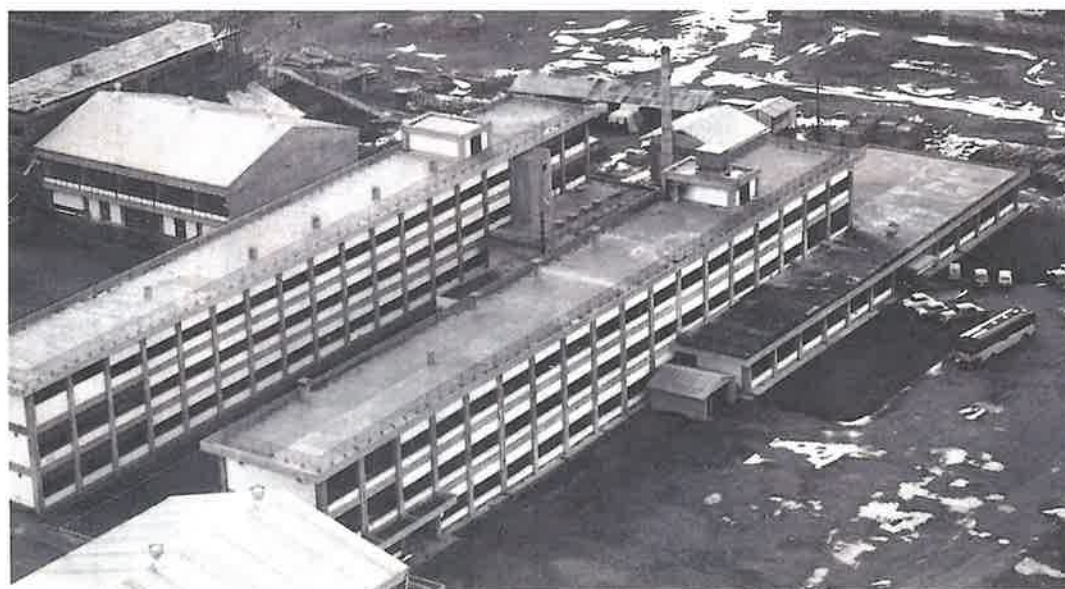
附属義務教育学校
後期課程校舎改修

募金趣意書

福井大学教育学部附属学校は、昭和38年に現在の地に独立開校し、平成29年には国立大学附属学校で初めて義務教育学校へと移行、世界をリードする日本型学校として、エジプトをはじめ、海外からの多くの教員が研修に訪れる拠点校となりました。さらに令和4年には福井大学は国立大学中のベスト4の旗艦大学（教員養成フラッグシップ大学）に指定され、まさに日本の、世界の教育をリードする役割を担うこととなりました。そして附属義務教育学校はこの新しい教育の実践の場としての機能を担っていくことになりました。

しかし、現在の附属義務教育学校後期課程（旧中学校）の校舎は、独立開校して以来の老朽化した建物です。そこで耐震補強を含め、令和4年9月から改修工事を行うこととなりました。この改修に合わせ附属義務教育学校を、教育界をリードできる教育環境の整った学校へと整備したく、広く募金のご協力をお願いするものです。募金活動の趣旨にご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

福井大学教育学部長 **山本 博文**
附属義務教育学校同窓会 **曙 の 会**
附属義務教育学校長 **牧田 秀昭**
福井大学理事 **松木 健一**
福井大学長 **上田 孝典**



◀開校時の校舎
(昭和38年)

附属義務教育学校の

さらなる飛躍のために



附属義務教育学校 校舎改修の概要

附属義務教育学校の精神「自主協同」

附属義務教育学校の精神は、何といっても伝統に培われた「自主協同」。この主体性と協働性は、いま最も須要にして、世界が希求している学力です。

これまでの取り組み

これまで附属義務教育学校の校舎は、「自主協同」の校訓のもとで進められてきた新しい教育システムに合わせて、改修を重ねてきました。最近では、旧中学校の体育館の建設、小中をつなぐ中央棟の建設、広い駐車場の整備などを、皆様のご支援によって相次いで実施してきました。

木材をふんだんに使った断熱効果の高い建築方法を採用し、1階部分には義務教育学校移行に合わせて、これまで前期、後期課程それぞれにあった職員室を一つにまとめました。また2階部分にはアクティブな学習が可能な「プロジェクトルーム」を設け、子どもや教員の協働探究の場とするとともに、海外からの教員研修の場としても利用しやすいスペースとしました。また、教職大学院の一部が、旧小学校校舎の2階部分に移転し、義務教育学校の新たな教育開発に強い連携をとることができる環境になっています。今後、フラッグシップ大学に指定された福井大学の協働実践研究の場として、附属義務教育学校の益々の発展が期待されています。



協働的な探究型のプロジェクト学習は全国のエデュケーション界をリード

明日が拓がる学校を創る

附属義務教育学校では、この学力が学校環境の持つ国際性と柔軟性によって磨き上げられようとしています。世界各地から附属学校の教育を学ぼうと先生がやってきます。子どもたちは自分たちの学びを伝えようと必死です。

また、学校では1年生から9年生までが学び合う姿を目撃できます。「覚える」学習ではなく、分かち合い、相手を活かす学びです。

子どもたちは、このしなやかさと Society 5.0 に対応する技術を身に付けて育ちます。義務教育学校後期課程（旧中学校）の校舎改修が学びの「自主協同」をそっと後押ししてくれます。



グループワークとICTの併用が本校の特徴



海外からの研修生



募金のお願い



福井大学附属義務教育学校では、この後期課程校舎の改築により、先進的で新しい教育スタイルに対応できる附属義務教育学校、教員養成フラッグシップ大学にふさわしい附属義務教育学校にしたいと考えています。つきましては、多くの方にこの趣旨に賛同いただき、募金にご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- **募金の名称** 附属義務教育学校応援募金
- **募金の活用目的**
 - ① 後期課程校舎改修に伴う義務教育学校全体の設備工事費（約 4000 万円）、および備品、特に学校のデジタル環境の整備（約 3000 万円）
 - ② 給食調理室の整備（約 2000 万円）、教育環境の整備（約 1000 万円）
- **募金の目標額** 1 億円
個人の方は一口 1 万円、法人・企業の方は一口 5 万円をお願いします。
（一口以上、何口でも結構です。1 万円未満の募金也大歓迎です。）
- **募金方法** 「福井大学基金（羽ばたけ基金）」または「福井県ふるさと納税」での募金となります。
お手続きの方法については裏面をご覧ください。
- **募金の募集期間** 令和 4 年 6 月から令和 7 年 3 月
- **ご寄附に対する謝意** ご寄附をいただいた皆様には、お礼状をお送りするとともに、10 万円以上のご寄附の方は、芳名板にご芳名を掲載させていただきます。
また、ご寄附の金額に応じて、大学からお礼もごぞいます。

問い合わせ先

附属義務教育学校校舎の改修 に関すること

福井大学教育学部附属学園寄附金事務室

TEL 0776-22-7171

E-mail sfuzoku-k@ad.u-fukui.ac.jp

寄附手続き に関すること

福井大学基金事務局

TEL 0776-27-9903

E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

topic

附属義務教育学校後期課程の校舎改修中の6ヶ月間は、後期課程の生徒は教育学部がある福井大学文京キャンパス内の講義室や実験室を使って、学習を進めることになります。後期課程の生徒にとっては、大学の施設で学ぶことのできる絶好の機会になります。生徒たちは「大学生と一緒に理科実験や、地域づくりの探究学習ができる!」と息巻いています。さすが附属の子どもたちです。

一方、教育学部の学生にとっても、同じキャンパス内、建物内に附属学校の生徒が同居する絶好の実践の機会になります。附属生徒たちを前にして、新しい教育にトライするまたとない機会になればと思っています。



学びの場となる総合研究棟

募金（ご寄附）のお手続き方法

福井大学基金（羽ばたけ基金） または 福井県ふるさと納税（個人の方のみ） をご利用いただけます。

福井大学基金（羽ばたけ基金） へのご寄附の方法

1 付属の専用振込用紙でのお振込みによるご寄附

専用振込用紙に必要事項をご記入の上、福井銀行またはゆうちょ銀行にてお手続き願います。

手数料は大学が負担いたします。

その他の金融機関でのお手続きも可能です。詳細は基金ホームページまで。

2 インターネットでのお手続きによるご寄附

クレジットカード決済、コンビニ決済、Pay-Easy（インターネットバンキング決済）がご利用可能です。

基金ホームページ（インターネットでのお申込み）からお手続きください。

募金（寄附）の使途は、「⑦附属学園の応援」をお選びください。



福井大学基金 HP

【税制上の優遇措置】

『福井大学基金（羽ばたけ基金）』へのご寄附は、税制上の優遇措置が受けられます。

個人の方

●所得税の優遇措置

寄附された年の所得税から控除を受けることができます。

（寄附金控除額＝寄附金合計－2000円）

※控除の対象となる寄附金額は、総所得金額等の40%が上限です。

●個人住民税（県民税・市町村民税）の寄附金税額控除

寄附された翌年の1月1日に福井県内にお住まいの方は、寄附された翌年の個人住民税から控除を受けることができます。

法人からのご寄附

法人税法第37条第3項第2号により、全額損金算入が可能です。

福井県ふるさと納税 へのご寄付の方法

1 付属のゆうちょ払込取扱票でのお振込みによるご寄付

専用のゆうちょ払込取扱票に必要事項をご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行にてお手続きください。

手数料は無料です。

2 インターネットでのお手続きによるご寄付

クレジット払い等が可能です。福井県ホームページ「県内大学の魅力向上応援」から、「福井大学」を選択、募金（寄付）の使途は、「⑦附属学園の応援」をお選びください。



福井県ふるさと納税 HP

【税制上の優遇措置】

寄付金のうち2,000円を超える部分については、住民税等の控除が受けられます。ワンストップ特例申請が便利です。

※控除される額は、年収に応じた上限があります。